

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市中区新栄一丁目22-18
TEL 052-262-1377
発行人 阿部 精 六

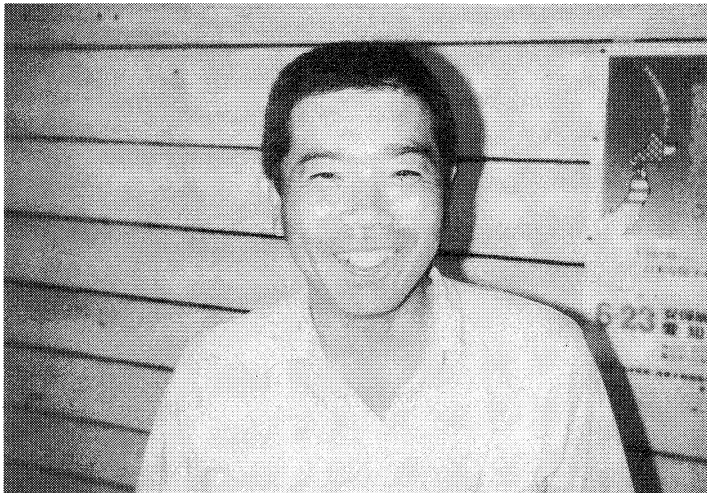
第7号 1990年6月30日

地労委訴訟第2回公判

◇ 7月13日(金)午前10時
◇ 名古屋地方裁判所

第3回評議員会

◇ 7月21日(土)午後2時
◇ 名古屋市勤労婦人センター



「労働組合は、たたかわにゃいかん」と語る土田さん

住金(親会社)と同額の賃上げ とれるとは、夢にも思わなかった...

住友軽金属の門前で38年ぶりに組合旗がたった...



門前でピラミクスするスミケイ運輸の組合員(5月14日早朝、住友軽金属名古屋工場)

愛労連は、七月、九月を組織拡大に間に決定しました。各単産や地域も全力投球しています。けても、全港湾名古屋支部は、昨年から今年にかけて大きな成果をあげています。そのひとつスミケイ運輸分会では九〇春闘で、十人が(組合員数)、三百人を変え(従業員数)、さらには二千人を変えよう(親会社の住友軽金属の労働者数)と、デッカイたたかひを行い、港湾労働者に大きな影響を与えています。その中心として頑張っている全港湾スミケイ運輸分会会長の土田良克さん(四二歳)に、組合結成のきっかけや労働組合ができ、どう職場が変わったのか、などについてうかがいました。スミケイ運輸分会の田所悦朗書記長(三九歳)も、同席してくれました。あわせて全港湾の組織拡大の背景などについても取材しました。

組合づくりのきっかけ
ものが自由に言える職場が欲しかったんです。運

転手ばかりで仕事の中は、多量に「添木をしてもいい」と言われてね。基準局から注意を受けなかったために、公傷でも休めなかったんです。ミーティングも命令だけの一方通行で、従業員の声は一切届きませんでした。仕事で少しでもミスをするとか、反抗的な人は裁判まがいのつるし上げでした。そんな会社のやり方に我慢出来なかったんです。

組合をつくったのが
まず、職制の朝礼の言葉づかいから変わりましたね。それまでは「お前らブロなんだ。もっと自覚して仕事をやれ。そうしたら事故なんかおきやせん」と、どなりちらしていました。組合が出来てから「みんな気をつけて運転してほしい。今日も一日、安全運転をしよう」とね。

運転手の顔も見えないように明るくなりました。みんなが笑うようになったんです。朝礼でも発言するようになったんです。

過積載(積みすぎ)が大分なくなりました。公傷でも休めるようになったこと。けがをしても組合出来るまではほとんど気にしなかった職制が、すぐに見舞いに来るようになりました。有給休暇も自由に取れ

親会社(住友軽金属)と同額の賃上げがとれるなんて、正直言って思いもしてませんでした。去年までは住金の八割が当り前でしたからね。五月賃上げが当然でしたし、十月賃上げもあったんです。今年初めて四月実施になりました。

「組合とはこんなものか!」って、組合の力に感心しましたね。会社のトップクラスの人が前にきて話し合い(団交)やるなんて信じられなかったですよ。結果直後の団交ではあがってものも言えませんでした。しかし、今では団交が楽しみになりましたよ。組合をつくって本当によかった!—そう痛感しています。

「お前らあ、やっているなあ」って、激励されました。親会社は御用組合なの

です。聞いて通して、スミケイ一〇人だけでやっているのではありません。指導や応援をしてくれる仲間一杯いる、仲間を支えられて力をはじめて発揮できる。その事を教えられました。

たことが大きいです。本当に親身になって、欲得なく指導してもらい、感激しています。

春闘の最後に愛労連の宣伝カーが、住金の門前にきたこともうれしかったです。ねえ。全港湾だけではない。その上に愛労連がついてい

は、いまだに暴力的な職場支配が続いています。忙しいときには、夜明けまで働いても、あくる日働かせられる。暇になれば会社から「明日から来なくてもいい」。みんな頭を叩かれていますよ。しかし、暴力が支配する港の中では、一切文句は言えない。全港湾がいま増えているのは、そういう労働者が全港湾に大きな期待を寄せているからだと思えますよ。一緒に仕事をしています。一緒に関係を深め、働きかけているなかで組織拡大が実現してきています。職場の要求を吸い上げること。全力をあげています。毎週「火・金運動」で、十二

「抱負」
職場は働く者があってこそです。労働者が中心になる、大事にされる職場をつくりたいですね。まず定年延長や退職金の改善に力をいれていきます。それにいろいろ闘う仲間と手をつないでいきたい

「抱負」
職場は働く者があってこそです。労働者が中心になる、大事にされる職場をつくりたいですね。まず定年延長や退職金の改善に力をいれていきます。それにいろいろ闘う仲間と手をつないでいきたい

「抱負」
職場は働く者があってこそです。労働者が中心になる、大事にされる職場をつくりたいですね。まず定年延長や退職金の改善に力をいれていきます。それにいろいろ闘う仲間と手をつないでいきたい

「抱負」
職場は働く者があってこそです。労働者が中心になる、大事にされる職場をつくりたいですね。まず定年延長や退職金の改善に力をいれていきます。それにいろいろ闘う仲間と手をつないでいきたい

「抱負」
職場は働く者があってこそです。労働者が中心になる、大事にされる職場をつくりたいですね。まず定年延長や退職金の改善に力をいれていきます。それにいろいろ闘う仲間と手をつないでいきたい

「抱負」
職場は働く者があってこそです。労働者が中心になる、大事にされる職場をつくりたいですね。まず定年延長や退職金の改善に力をいれていきます。それにいろいろ闘う仲間と手をつないでいきたい

組合をつくって本当に良かった

全港湾スミケイ運輸分会会長 土田 良克さん(42歳)

組織拡大つづく全港湾

大きかった朽木合同の勝利

全港湾では、昨年九月、スミケイ運輸分会一〇名の加入が始まり、今年三月協和陸運分会一九名、そして今年五月に入り由良海運分会二八名と新しく三分会が結成された。さらに日検分会では九年ぶりに新規採用者六名を組織し、全検分会では第二組合からの復帰を含め十四名が加盟した。めざましい組織拡大の秘密はなんなのか?

全港湾名古屋支部藤井書記長は「港湾労働者は、いまだに暴力的な職場支配が続いています。忙しいときには、夜明けまで働いても、あくる日働かせられる。暇になれば会社から「明日から来なくてもいい」。みんな頭を叩かれていますよ。しかし、暴力が支配する港の中では、一切文句は言えない。全港湾がいま増えているのは、そういう労働者が全港湾に大きな期待を寄せているからだと思えますよ。一緒に仕事をしています。一緒に関係を深め、働きかけているなかで組織拡大が実現してきています。職場の要求を吸い上げること。全力をあげています。毎週「火・金運動」で、十二

年間港の中で訴えた地道な活動も関係しているかもしれませんね。それに朽木合同の勝利も大きいですよ。全港湾に入ったら首を切られる」と思っていた港湾労働者が「ユニオンショップ協定」による解雇は無効。組合員は組合選択の自由がある」という判決を含め朽木合同の勝利で、「全港湾」に入ったら救われる。要求が前進する」と、確信が広がってきたから。しかし、最近では会社の警戒心も強まってきています。今迄のようなかんではゆかんでしょうが、闘う組合を掲げるためがんばりますよ」と語った。



全港湾名古屋支部 藤井書記長

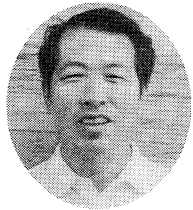
ら支援もあったですよ。なんといっても全港湾という「たたか組合」に入るとのこと。とても力強かったです。女房ですか。組合の役員

スミケイ運輸は、住友軽金属の製品や原料を専門に運んでいる運輸会社。従業員三〇〇名のほとんどは運転手。昨年九月組合を結成。90春闘で住友軽金属名古屋工場の門前に三十八年ぶりに赤旗を立て、住金と同額の賃上げを獲得。

「抱負」
職場は働く者があってこそです。労働者が中心になる、大事にされる職場をつくりたいですね。まず定年延長や退職金の改善に力をいれていきます。それにいろいろ闘う仲間と手をつないでいきたい



「みんなの要求をみんなで実現、栄行動は、地域運動の一つのモデルとして、定着している」



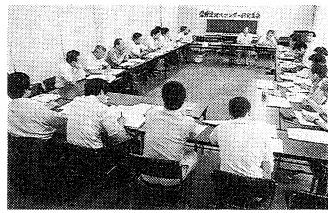
加藤 勝さん

手さぐりの地域運動
先日、愛労連で地域セン

ター研究集会が開かれました。よく参加したなあ」という感想と同時に、「やっぱりまだ半年だ」という感じを持ちました。まだ地域の運動には、かなりのバラツキがあります。「なにをやったらいいのか?」いま各地域は、模索していますよ。

日常活動強化と組織拡大へ とりくみを交流

「地域センター研究集会」に19地域29名



愛労連地域センター研究集会 (6月16日~17日)

各地域の主な活動

- ▲千種名東
・九〇春闘決起集会
- ▲名古屋中
・住民要求団体と交流
・革新懇結成へ準備中
・九〇春闘中区共同実行委員会を結成(春闘集会、ノ一残業デー)
- ▲栄総行
・消費税をやめさせる中区連絡会で毎月取り組み
・都心街づくりの懇談会
- ▲中村
・ファミリーフェスティバル
- ▲重税反対区民集会
- ▲守山
・春闘学習討論集会
・要求のノボリ作成
・要求交流集会
- ▲名古屋南
・春闘学習交流集会
・地域春闘ニュース門前配布
- ▲瑞穂
・フェスティバル
・区長交渉
- ▲天白
・春闘学習討論集会
・要求のノボリ作成
・要求交流集会
- ▲名古屋東
・春闘学習討論集会
・要求のノボリ作成
・要求交流集会
- ▲緑
・春闘決起集会
・大同特殊鋼と地域から在職死亡をなくす会(ヒラ配布、社宅アンケート、学習会)
- ▲港
・毎月集会
・毎週火・金宣伝行動
・春闘集会
- ▲東三河
・重税反対集会
・トヨタ総行
・メーデー地域集会
・おいでんコンサート
・争議組合支援
・国立病院を守り発展させる会
- ▲一宮
・国鉄闘争スト支援
・九〇春闘(学習会、要求交流集会、商工会議所への申し入れ、決起集会)
・地域メーデーの開催
・ソフトボール大会
・最賃署名運動
※なお、現在、尾東、岡崎、額田、豊田加茂などで、

会議のまとめ

- 地域センター結成準備中
- (1)「愛労連」第二回大会(九月三十日)までに、未組織地域は組織化するよう運動の強化
 - (2)各地域からの具体的な運動の強化
 - (3)愛労連の組織拡大月間(七~九月)に、各地域で組織拡大の目標を持ち取り組み
 - (4)財政の確立については、活動に必要な財源確保へ工夫する

新しい労働運動を地域から創りだしたい

名古屋中地域センター議長 加藤 勝さん

に、要求をもちより、解決へ努力しています。春闘共同行動実行委員会が、昨年から発足したんですが、連合などの職場も加盟しています。春闘集会だけでなく、ノ一残業デーにも取り組んでいます。毎月第二水曜日をノ一残業デー

地域のメリットを生かすことが大事
「センターをつくらせて良かった」という点では、これからはもっと構成組合員に感謝されるような課題に力を入れ、よく必要を感じ

をつぶさないよう医療労働者が座り込むなどの時に、地域がもっともっと力を発揮することが求められているんじゃないでしょうか。地域の利点を生かしてタテとの関係を含めて整理をしないかんと思います。それに組織拡大です。中

インタビュー 地域運動の現状と方向

て、組織拡大にうってでることがとても大事だと思います。愛労連全体としても、タテ(産別)とヨコ(地域)の運動がどうあるべきかは解明しなければなりません。大胆に言うならば、産別別課、トは全て地域で

企業別労働組合運動のわくを超えた運動を築く事が大事です。今のところはまた我々の地域運動も連合とあまり変わらないと思います。地域運動をどう見るか? どう運動をつくるか?は、全労連の試金石ではないでしょうか。

人、金、事務所は、どの地域も不足しています。愛労連としてどこかモデルケースをつくって運動を広げることが一案ではないでしょうか。例えば中地域は、政治も経済も相手の心臓部なので、そうしてもらえるとうれしいですね。

企業のワク超えた運動を創りだしたい
取り組む位の発想が必要だと思っんです。例えば小選挙区制や消費税などの国民的課題は産別でなく全て地域で取り組むというふうな反省点のひとつとして、九〇春闘で県春闘共同委員会からの回答情報を活用して、中地域の回答状況をつくり地域へ配ることができなかつたことです。まともな労働組合の姿(実績)をもっと地域の労働者に見せ

いねさきちひろ展

●7月20日金~8月1日水 ●愛知県美術館

観覧時間：午前9時30分~午後6時(入館は5時30分まで) 観覧日は2時閉館
入場料：一般900円(700円) 大・高生700円(500円) 中・小生500円(300円)
※(1)内は前売券20名以上の団体料金 ※消費税込みの料金

地労委民主化を求める連絡会議結成
六月二十七日(水)、「愛知地労委の民主化を求める連絡会議結成総会」が開かれた。幅広く労働組合員、学者、弁護士



ナトコ、高裁で完全勝利 (5月31日)

中電株主総会の日に、人権差別撤廃へ抗議
五月二十一日、東京を出発した国民平和行進は六月五日、静岡から愛知へ。十六日、岐阜へ引き継ぐまでの二日間、風雨の吹きすさぶなか、真夏をおもわせる日照りのなかを、沿道の人たちに、各自自治体に「核兵器をなくそう」「被爆者援護法の即時制定を」と訴え、延べ四、四一〇人が参加。90原水爆禁止世界大会の成功へ広島・長崎をめざして行進しました。



中電本社前で抗議 (6月28日)

平和行進に四、四一〇名
五月二十一日、東京を出発した国民平和行進は六月五日、静岡から愛知へ。十六日、岐阜へ引き継ぐまでの二日間、風雨の吹きすさぶなか、真夏をおもわせる日照りのなかを、沿道の人たちに、各自自治体に「核兵器をなくそう」「被爆者援護法の即時制定を」と訴え、延べ四、四一〇人が参加。90原水爆禁止世界大会の成功へ広島・長崎をめざして行進しました。



役員を代表して決意を述べる名大石田教授 (6月27日)